

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習IV		
担当者(Instructors)	寺島 雅隆	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

卒業論文を仕上げることがこの授業の目的です。まずは、経営学におけるテーマを模索し、学問的な問いを持ちましょう。そして、先行研究によって、その問題が学問においてどう取り扱われてきたのかを認識しましょう。次に、できれば仮説を立て、問いに対する自分なりの考えを構築しましょう。そして、その仮説が真理なのかどうかを検証する方法を模索し、アンケート調査やフィールド調査を実施しましょう。そこで得られた知見を論理的に整理し、論文に上げていきましょう。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	集団的授業や個別授業を織り交ぜ、論文の下書きを元に議論していきます。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業ガイダンス	授業の計画・進め方などについて解説します。	<input type="checkbox"/>
第2回	卒論の構想	前期で考えた構想を練り直します。	<input type="checkbox"/>
第3回	仮説	先行研究で得た知見をもとに仮説を立てます。	<input type="checkbox"/>
第4回	研究方法1—どう明らかにするか	研究方法を模索します。	<input type="checkbox"/>
第5回	研究方法2—調査方法（アンケート）	アンケート調査について説明します。	<input type="checkbox"/>
第6回	研究方法3—調査方法（フィールド）	フィールド調査について説明します。	<input type="checkbox"/>
第7回	分析方法1—統計（エクセル）	統計処理を用いた分析方法を説明します。	<input type="checkbox"/>
第8回	分析方法2—統計（SPSS）	統計処理を用いた分析方法を説明します。	<input type="checkbox"/>
第9回	卒業論文の下書き	下書きを進め、進捗を報告します。	<input type="checkbox"/>
第10回	卒業論文の仮提出（本文含む）	ある程度出来上がった論文を提出します。	<input type="checkbox"/>
第11回	卒業論文の発表1	一人20分を目途に発表します。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業論文の発表2	一人20分を目途に発表します。	<input type="checkbox"/>
第13回	卒業論文の発表3	一人20分を目途に発表します。	<input type="checkbox"/>
第14回	卒業論文の発表4	一人20分を目途に発表します。	<input type="checkbox"/>
第15回	卒業論文の提出	論文を最終提出します。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前には、授業のテーマについて調べ、論文や文献から知見を得てください。（約2時間）。事後には、授業内容を整理し、疑問を解消し、自分の卒論を仕上げてください（約2時間）。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

卒論提出があります。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	批判的な論理的思考を培い、先行研究により組む
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	自ら仮説を立て、その検証に取り組む。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 卒論提出が80%です。加えて、子ども食堂への取り組み状況が20%です。出席に関しては、毎回授業後に感想レポート(200字程度)を提出することで出席とみなします。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	寺島雅隆『起業家育成論—育成のための理論とモデル』唯学書房	978-4902225808
2	寺島雅隆『障害者の経営学—雇用から起業へ』三恵社	978-4866933429
3	寺島雅隆『救貧の正当性—なぜ障害者を救うのか』デザインエッグ社	978-4815034177
4		
5		